

食を通じて農業に関心を



JA集落営農組織連絡協議会④は10月30日、「ひとめぼれ」15袋(1袋30kg)、「こがねもち」1袋を、JA青年部協議会と県出身タレントのあゆかさんは11月1日、いわて平泉米のPRのために共同で栽培した「ひとめぼれ」3袋を児童養護施設一関藤の園へ贈りました。

選りすぐりの農産物並ぶ



第14回一関市むろね産業文化祭が11月10、11の両日行われました。

感謝の手紙をプレゼント



金沢小学校(花泉)は11月15日、1、2年生が育てたサツマイモの収穫パーティーを開きました。指導をしたJA女性部花泉中央支部金沢支部が招待されました。

笑顔で交流深める



JAハートフル川崎支部は11月1日、第18回ふれあいイモ煮会を開きました。地域に住む75歳以上の方が約80人参加し交流を深めました。

贈答用リンゴ大人気



JAは11月24日、りんご収穫感謝祭を東部営農振興センターで開き、贈答用リンゴや管内産農産物を買求める多くの来場者でにぎわいを見せました。

地元食材の売り方学ば



JAは11月8日、平成30年度6次産業化セミナーを開きました。全5回の講座でマーケティングの基礎やマヨネーズの調理法を学び、地域資源を生かした加工品作りを目指します。

つきたてのお餅、おいそう



東山小学校5年生48人は11月16日、JA東山青年部とJA女性部東山中央支部の協力で学習田で収穫したもち米を臼ときねでつき、お餅を味わいました。

自然素材を生かしたリース完成



JAは11月8日、第3回わくわく親子広場を開き、幼稚園入園前の子どもを持つ母親11人がJA生活シーダーの阿部安子さんの指導でリース作りを楽しみました。

おにぎりでもおいしい金色の風



県南広域振興局は10月30日、「金色の風」試食交流会を一関あおば保育園で開き、園児と生産者がおにぎり入りのお弁当を作り交流を深めました。

家畜に感謝した畜霊祭



JAは11月15日、牛魂碑の前に家畜への感謝と畜産振興を祈念しました。その後、酪農、和牛、肥育牛の各生産部会の代表者や関係機関が今後の畜産振興方策について意見交換を行いました。

たくさん収穫できたよ



JA一関青年部中里支部は10月31日、中里小学校(一関)2年生34人とサツマイモを掘り起し収穫の喜びを分かち合いました。

「菊勝久」を生産した伊東孝さん



県和牛振興に期待
岩手県種雄牛に「菊勝久」

伊東孝さん(大東)が生産した「菊勝久」が、現場後代検定で脂肪交雑値が8.0、上物率100%と県歴代最高の成績で県有種雄牛に認定されました。JAは県で認定される前の平成30年4月から先行交配を実施。早いもので来秋には産子が市場上場されます。伊東さんは「菊勝久の子が欲しいと肥育農家に言われるような種雄牛になってほしい」と期待を込めました。



出荷を喜ぶ生産者と関係者

ふるさとの味と香りをお届け

一関ふるさと便「冬の便」出発式

一関ふるさと便実行委員会は11月7日、JA西部営農振興センターで一関ふるさと便「冬の便」の出発式を開きました。一関地方の農畜産物や特産品が13コースの品揃えで「ふるさとの味」を全国へ届けます。同実行委員会副会長でJAの佐藤鉦一組合長は「全国に一関ファンがいる。ふるさと便を通じて産地の確立に取り組んでいきたい」と話しました。

弓を携えいざ! 白浜神楽

腰を入れて「おりやつ!」もちつき大会

うどん、いただきま〜す!

感謝を込めて 豊年もちまき

あんこもちパクリ!

ね・ら・い・う・ち! ゲートボール通し

ずらりと行列

観客を魅了! 股旅マドロス演歌舞踊ショー

おらほの芸達者! 芸能大会

おふくろの味を どうぞ

花泉会場
11月3日

管内最大規模の農産物品評会

はっけよ、いっせー、おっすたい!

何が当たるかな?! 抽選を待つ長い列

ちゃんこ鍋 おいしくな〜れ!

地産地消拡大大会

白熱の農家組合対抗競技

段違い玉入れ大会

観客を魅了 よさこいソーラン

JAいわて平泉まつり

ステージをにぎやかに盛り上げます! 芸能大会

藤沢会場
11月
3日、4日

2018 JAいわて平泉まつり ~大地のめぐみを未来へつなぐ~

ぼくたちが作った お米いかがですか?

今年も大行列!

いわて南牛モモ肉丸焼き

華麗な鶏舞い

職人の顔 青年部の焼き鳥

体の中なら ぽっかぽっか 女性部の芋の子汁

子どもに大人気、このまん登壇

いわて南牛肉、お薦めです!

地区ごとにステージを盛り上げます

平泉会場
11月4日